

平成 28 年度 学校関係者評価委員会 議事録（1 回目）

実施日：平成 28 年 7 月 5 日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティール専門学校 校長）
福澤寿和（愛知県理容生活衛生同業組合 理事長）
岩田壮介（名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校 事務長）
川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）
近藤文峰（第一学院高等学校 教諭）
國島徳博（(株)インテンド 代表取締役）
尾関之一（ベリーバイヘアースポットオゼキ経営）
廣瀬麻美（理容ヒロセ） 順不同

欠席者：委員 近藤文峰（第一学院高等学校 教諭）

平成 28 年 6 月 30 日（木）にアリアーレビューティール専門学校にて
意見等を聴取し会議に報告する。

川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）

平成 28 年 7 月 1 日（金）に指吸会計センター 名古屋支店にて意見等
を賜り会議に報告する。

オブザーバー

山口 孝（アリアーレビューティール専門学校 広報主任）

森山郁子（アリアーレビューティール専門学校 事務主任）

委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
職業実践専門課程に対する取組みの進捗状況と合わせ冒頭の挨拶。
- (3) 平成 27 年度法人（学校）事業及び業務報告、決算書報告（森山主任）
- (4) 平成 27 年度自己評価報告（山口主任）
- (5) 平成 27 年度学校関係者評価委員による評価まとめ（山口主任）
- (6) 平成 28 年度進行中の学校行事等の報告（山口主任）
- (7) その他意見交換

各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。
（詳細は後記のとおり）

(8) 閉会

終わりに、校長から平成 28 年度は第 2 回目を平成 29 年 1 月 31 日または 2 月 7 日に行う予定である旨の報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○福澤寿和 委員

27 年度決算報告において、人件費比率の確認があり、森山事務主任より、帰属収入に対し、40%以下であること等全国平均以下である旨の報告。ある程度の水準は確保して下さいとの意見。岩田委員より自校では医療系学科があり、その分野の教員確保には通常以上の経費が掛かっていると述べられる。

評価項目 (3) に関して、教育課程の編成の中で、授業評価とは関係なく、保護者の方に在校生がシャンプー等実技披露をしてはどうか。また来年度、愛知県にて東海北陸地区理容競技大会があるので、競技会の見学をさせるのも業界団体等との連携になるのではないかと。評価項目 (4) に関して、学修成果に就職率があるが、若い人にこの業界を目指してもらうには、店舗側に経営的な問題点があると思う。我々の業界は一般的に特に 40 歳までの「勉強が足りない」と感じている。お客様（市中の皆さま）ともっと価値観を共有したいと思っています。学校でもビジネス社会における店舗運営管理を授業に取り入れてほしい。評価項目 (7) の学費支援においては、組合としても後継者育成の観点からなんらかの対応を考えていかないといけないと思います。

(学校側)：人件費比率に関しては、直近 3 年間は黒字決算であるが、それ以前に発生した負債の問題もあり、余剰に予算を組む余裕はない。教育課程では今年度からではあるが、「学校公開日」を作り、昼間生保護者や出身高校の先生方を招待し、専門学校での学びの風景を見ていただいている。同時に教育相談の場を設け、教員と保

護者の個別相談を実施している。(第1回目は6月25日に実施。高校教諭1名、保護者6名、教育相談1件あり。) 今後も曜日を工夫し、続けていく予定です。評価項目(4)(7)に関しては、業界団体としての問題、学校としての問題があると思います。業界では人材育成面、学校は学費が大きなウエイトを占めるかと思えます。学費に関し、学校側も決算書を見ておわかりのように、これ以上の免除額は難しいです。組合側においても、組合員様特典として、組合員親族の入学に際し、一部費用の応援をお考えいただければと思います。よって組合の魅力が増し、組合員増につながればと考えます。

○川野公稔 委員：(ゆびすい名古屋事務所にて)

評価項目(8)に関して、決算書ですが、授業料収入において、実際に入金のあった実数が今まで記載されていますが、本来ならあるべき数字(入学者・在籍者数)を立て、中途退学者等未収入金に関しては、費用・負債扱いをした方がよいと思えます。その方が何名入学して、また中途退学・失客によっていくらマイナスが発生したのか明確になります。どこかの年度で一度リセットするのをお勧めします。また、以前より理容科・美容科での収支バランスのお話しをいただいておりますが、比率等の案配はどのようにお考えですか。通帳を分けることも一考だと思えます。自己評価にもありますが、その他収益事業として何か検討中のものはありますか。不動産収入の見直し、免許所持者の職場復帰、実習室を利用したネイル・化粧ルームの活用等他校では実施されているところもあります。

(学校側)：財務分析を行いやすく、また収支バランスをチェックしやすくするためにも、未収項目の作成は本年度より実施していただければと思います。部門別(理容科・美容科)の業績管理いわゆるセグメント分析も最初から完璧を求めるのではなく、試行錯誤の中からやってみてはどうかと思っています。授業コマ数や各科担当教員も分かっていますが、そんなに単純な問題でもないと思えます。通帳分け等できる範囲から行い、問題点も見えてくると思えます。分社化、社内カンパニー制はよく実施されていることであり、目標及び実績の細分化は教員に当事者意識をさらに持ってもらうには必要と考えます。収益事業に関しましては、校内サロン展開をされている学校をよく見かけます。固定サロンを持たなくても、キャンピングカー等移動販促車で学校の打ち出しを兼ねたボランティア感覚でのサービスも考えて行きたいと思えます。

○近藤文峰 委員（アリアーレビューティー専門学校にて）

評価項目（4）に関して、卒業生についての報告があるが、第一学院では卒業後の動向調査を2年間行っており、夏に母校を訪ねる形になっている。中途退学防止に関してはこまめに電話を行い、また学業より人間関係での悩みが多く、大抵の場合、登校ペースが落ちてくるので、その点は注意している。評価項目（5）の学生支援ですが、生徒と先生の距離が近いのを売りにしている反面、甘くなることもある。学生に対する経済的支援として日本学生支援機構が主たるものになると思いますが、弊社では母子家庭が多く、現在3年生40名中25名が進学希望で内7名がすでに申し込みをしていると思う。安易に申し込まないよう、自分で奨学金を返す覚悟を持つよう指導し、高校生本人に親の源泉徴収票等を見て自分でパソコン入力、申し込みをさせている。同（7）については、高校側としては平日の普段の学校・授業の様子を見てくるように話している。逆に高校側から中学校に向けて、月1回オープンキャンパスをするが、その際同時に学校開放で在校生の保護者等も高校を来訪され、在校生の保護者が中学生の保護者に学校（高校）の特徴を伝えお互い親同士の懇親を図っている。

（学校側）：本年で弊社も68年を迎え、卒業生も11,000名ほどおりますが、今まで学校として同窓会等の運営はなく、卒業後の情報も当時の担任を中心に断片的にしか把握できておりませんでした。28年度からですが、創立70周年に向け、卒業生名簿の洗い出しを行っています。支援機構の奨学金ですが、高校での予約採用が大半を占め、入学後の定期採用はほとんどいません。高校でのご指導をしっかりお願いしたいところです。体験入学ですが、2年前より年2回在校生全員出校日で実施しております。生の学園の様子を見ていただければと思います。また同時にこれも28年度からですが、保護者及び在校生出身校の先生向けに学校公開を行っています。保護者の方は子どもを預けたらどのように成長させてくれるか、ということにとっても関心がありますし、在校生の保護者に満足する指導が行われていなければ、我々がどんなに素晴らしい美辞麗句を並べても受け入れられません。学校は、指導の過程を保護者と共有する必要があると思います。

○岩田壮介 委員

評価項目（5）に関し、保護者等との連携は、自校では自分で作ったスイーツを卒業前に出している。また職業実践課程で取り組んでいる事を在校生及び高校生の保護者に伝えている。高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みですが、歯科衛生科の学生が大府市にある県立桃陵高校の福祉科と連携を図っています。（8）の財務に関してですが、学校外の収益事業として、「お菓子教室」を一般主

婦対象に夜間教室を開いていましたが、うまくいきませんでした。学科増設等本業に近い形の方がいいかもしれないと思っています。

(学校側)：保護者との連携に際しては、昨年度来、保護者向けアンケートを取っており、月曜から金曜まで弊社ホームページ上でFB等を用い、日々の学校生活の様子を報告していたのですが、思っていた以上に周知できていないことがわかりました。(アンケート結果がよくない。)学園新聞等の紙媒体は確実に親元に届くよう、直接郵便で保護者に送っています。高専接続に関しては、弊社も力を入れており、27年度は浜松市・星槎国際高校様に出かけ、年5回出張授業をいたしました。ただ単年度の契約でしたので、本年度からは複数年にかけて互換授業のような形での提携を現在市内の高校と進めています。財務に関し、他の収益事業ですが、川野委員のところでもお話ししましたが、それに加え、現在理容・美容業界は国の規制改革の中で大きな変革の時期でもあります。その辺りからの方向性は検討していきたいと思います。

○國島徳博 委員

評価項目(2)に関し、式典はイベントであるという認識でいたほうがよいと思います。(5)の校内における学生との関係ですが、大きい学校ほどすべての学生を相手にしてられないので、結局甘やかすことになると思います。高専接続では、専門学校同士がつながっている例もあります。

(学校側)：学校のすべての行動が最終的に人の集まりにつながらなければならないと思います。まだまだ儀式的な面があると思います。もっともっと色々な方に学校に足を運んでいただきたく思います。また大規模校はやはり教育効果が落ちると思います。実技が中心の学校ですので、一層、目の行き届いた体制が必要かと思いません。

○尾関之一 委員

評価項目(3)に関し、職員研修ですが、自社理容サロンでの従業員教育について言いますと、スタッフを育てていく上で、理容師が意識を高めるには、社会的にもっとつながる必要があると思います。社会的評価があつてこそ、理容師も美容師も映えるのではないかと思います。今は社会的評価が低いと非常に感じます。先般のソウルで行われた理美容世界大会でアリアーレ卒の片桐選手が金メダルを獲得しました。サロン営業終了後、深夜0時から新聞朝刊が来るまで練習するそうです。

(学校側)：理美容という職業に夢を与えないといけないと思います。高校生が学校選びをする中で「技術」が選ばれる理由にならないという面があります。まずは自分がやりたいこと・好きなことを学ぶことができるかです。あと、市中で活躍している理容師さん、美容師さんがチャンピオンまで行かなくても、努力して行く中で、人並み以上の生活ができるということが非常に重要です。そのためにも、社会的評価を技術面でも生活面でも底上げしていくことが非常に重要に感じます。

以上
記録：山口

平成 28 年度 学校関係者評価委員会 議事録（2 回目）

実施日：平成 29 年 1 月 31 日（火）10：00～12：00

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティール専門学校 2 階 C 教室

出席者：委員 池山英一（アリアーレビューティール専門学校 校長）
福澤寿和（愛知県理容生活衛生同業組合 理事長）
岩田壮介（名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校 事務長）
川野公稔（指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長）
近藤文峰（第一学院高等学校 教諭）
國島徳博（(株)インテンド 代表取締役）
廣瀬麻美（理容ヒロセ） 順不同

欠席者：委員 尾関之一（ベリーバイヘアースポットオゼキ経営）
平成 29 年 1 月 26 日（木）にベリーバイヘアースポットオゼキにて
意見等を聴取し会議に報告する。

オブザーバー

山口 孝（アリアーレビューティール専門学校 広報主任）
森山郁子（アリアーレビューティール専門学校 事務主任）

委員会次第（概要）

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
職業実践専門課程に対する取組みの進捗状況と合わせ冒頭の挨拶。
- (3) 平成 28 年度学校行事等進捗状況及び前回会議における学校関係者評価委員会において意見聴取した部分の活用実績報告（山口主任、森山主任）
- (4) その他意見交換
各評価委員から、上記報告等に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。
（詳細は後記のとおり）
- (5) 閉会
終わりに、校長から各委員の契約が平成 29 年 3 月 31 日で終了する旨の確認及び追って再契約等依頼することがあった場合の協力要請、また今回会議における各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

(冒頭)

平成 27 年度実績に伴う「職業実践専門課程」(理容科・美容科)の申請を平成 28 年 9 月 7 日、愛知県庁私学振興室に提出、平成 29 年 1 月 6 日及び平成 29 年 1 月 27 日に上記に対する再提出をした旨、池山校長より報告。提出書類(控)を各委員閲覧し、本申請の目的等を確認する。

・平成 28 年度学校行事等進捗状況について

[学校側から学園新聞を通じ、平成 28 年 6 月より 12 月まで半年間の学校行事等の説明]

- ・ ヴィダルサスーン勉強会
ロンドン ヴィダルサスーンで活躍中の講師を招いて半日間 全昼間学生勉強会
- ・ 学校祭
初めて夏季(7月)土曜日開催。模擬店・バザー等で災害協力金活動。業界キャラクター。
- ・ 今池お祭りウィーク
地域貢献の一環として町内会お祭り企画に 2 日間参加
- ・ 福祉ボランティア活動
理美容業界で取り組んでいる訪問出張福祉理美容の一角
- ・ 理容科、美容科互換授業
規制改革による重複免許を踏まえた指導
- ・ 理容組合理事長、美容組合理事長基調講演
生衛法及び組合活動の周知
- ・ 技能五輪全国大会
技術大会への取り組み
- ・ フェザーミュージアム見学
理美容遺産を訪ねて
- ・ 通信入学式
入学者数報告
- ・ 京都 国家試験合格祈願
2 年生全員 合格祈願

[各評価委員からの質疑・ご意見等] (順不同)

○福澤寿和 委員

学校祭や地元イベント企画への参加は理容組合としても一緒に参加できないか検討してみる。業界キャラクターの使用及び組合基調講演に関しては今後も協力をしていく。互換授業は美容科の学生に理容の良さを伝えるいい機会なので、よい取り組みであると思います。学園新聞全般に関してですが、ちょっと文字が多く、見にくい。組合サロンはもちろん、そのお客様にもお届けしたい旨の発言がありましたが、要請があった場合、もちろん協力はしますが、もっと見やすいものをお願いしたいと思います。新聞に卒業生紹介のコーナーを作り、「卒業後 5 年たった今」のような紹介をし、学生の身近な目標にしていくことのツールとしての活用もいいですね。

○川野公稔 委員

学校行事の充実さはよくわかります。弊社でもお客様向け新聞を発行しておりますが、各委員会があり、そこで編集をしています。新聞は出すタイミングが重要であり、そこを間違えると商品価値がなくなってしまいます。この新聞は結果報告のような感じがします。何か学校側から新しい発信（ニューヘアー等）をして読者を引き付けるような事をしたらよいと思います。

○近藤文峰 委員

弊社ではキャンパス立地の関係上、イベントに限界があり、学校祭に関しては四日市大学の学校祭に参加し、射的等のブースを設けております。学校にこもりがちにならないよう、外に出ております。新聞の見やすさに関して言わせていただくと、弊社ではマンガを取り入れております。卒業生が書いてくれるので、利用しています。新聞がHPでも見られるようになるとういと思います。

○岩田壮介 委員

学校行事に関してはとても充実していると思います。災害協賛をしているとの事ですが、それらの取り組みに関して、気づきませんでした。弊社でも課題にしたいと思います。

○國島徳博 委員

新聞の対象がだれなのか、高校生が見て喜ぶか、HPやスマホとの連動等何かそういう仕掛け（携帯でスキャンして動画にできる等）を考えていったらどうか。開けるとグリコのおまけのようなものがもらえたりして。行事の中身に関しては、災害復興ボランティアや「髪・ウィック」「道具」供養をしているところもあります。学校祭で卒業生を使い、高校生等のあこがれとして演出するのも手段の1つだと思います。

○廣瀬麻美 委員

文字が多いと思います。サロンのお客様にも「手渡し」という要望があるなら、三つ折りサイズで用意してもらえるといいし、学校の紹介も必要。興味がないと見ないと思います。理美容は割と敷居が高いとされているので、わかりやすく記載をお願いします。私も在校中に先生から記事を依頼され、原稿用紙何枚分と言われ、多いと思った記憶があります。やってもいない事を書いたりすると「ボロ」がでますので、注意した方がいいと思います。

○尾関之一 委員（ベリーバイヘアースポットオゼキにて）

職業実践専門課程の趣旨等を再度説明。学校行事を通じ、社会貢献、地域貢献の理解を深めてもらう。

・前回（28年7月5日）学校関係者評価委員会において意見聴収した部分の活用実績報告

[学校側から各委員に対し、平成28年6月より12月まで半年間の改善報告]

○福澤寿和 委員に対して

本年、愛知県にて開催予定の東海北陸地区理容競技大会は昼間課程 理容科・美容科全員が競技会の見学をさせる準備をしております。席及びパンフレットの確保をお願いいたします。学校においてもビジネス社会における店舗運営管理を授業に取り入れてほしいご意見がありました。これに関しては、三井住友フィナンシャルグループの方にお越しいただいて、消費者金融セミナーを11月に開催しました。また卒業生向けに信用保

証協会様に開設資金等のお話しをしていただきました。

○川野公稔 委員に対して

部門別（理容科・美容科）業績管理（セグメント分析）に関してですが、通帳は名古屋銀行にて学科ごとに作成しましたが、理容科・美容科共有部分の比率等案配に関して、理事長・校長の判断がまだ明確になく、大きな進展はありません。その他収益事業についても、理事会の開催が少なく、なかなか進んでおりません。岩田委員より、名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校では、歯科・製菓2科分けて、損益計算書、貸借対照表がある旨の発言がある。

○近藤文峰 委員に対して

中途退学防止に関しては、弊社においても、3学期より全学生に対し、個別面談を実施し、学業はもちろん、人間関係等の把握に努めております。来年度からは年間予定表に入れ、計画的に行います。

○岩田壮介 委員に対して

貴校では、卒業を控えた学生が自分で作ったスイーツを卒業前に学業成果の一環として、保護者に食してもらっている旨のお話がありましたが、弊社でも、3月7日（火）に、親御様にシャンパー等何か「きれいに」してあげるイベントを計画しております。高校等との連携ですが、現在、尾張旭市に本部がある「学校法人 菊武学園」様との間で、相互間の学生紹介、互換授業、就職支援等を中心とした包括連携協定の締結準備を進めています。2月中には双方合意の見込みです。幼稚園から高校、専門学校、大学を有する総合学園様と連携していくことはよいことであると考えております。

○國島徳博 委員に対して

式典に関してはイベントであるという認識が必要と前回ご意見いただきましたが、先般の通信生の卒業式、入学式では在校生（昼間生）が司会進行をいたしました。4月昼間生の入学式の際は、在校生（新2年生）が何かパフォーマンスができるよう計画中です。高専接続では、専門学校同士がつながっている例もある旨のお話しをいただきました。先ほども申したとおり菊武学園様との連携が実現できそうです。

○尾関之一 委員に対して（ヘアースポットオゼキにて）

社会的評価があつてこそ、理容師も美容師も映えるというお話を前回いただきました。学校も同じことで、環境問題の解決や地域貢献など、幅広いことが求められる今、それだけ、多くの問題に目を向け、自校が社会的によいものになるよう取り組んでいかねばならないと思っております。そのためには、それらの問題を「おまけ」や「追加のモノ」として考えるのではなく、それらを前提として学校経営を組み立てていく必要があると思っております。社会の流れを無視したのでは、よい学校という評価を得ることは難しいです。それらを嘯みしめながら、毎月の町内清掃、今池まつり、献血協力、赤い羽根共同募金、学校祭等での寄付金集め等の活動を今年度続けてまいりました。

・その他意見交換

[学生の中途退学防止（近藤委員意見）から、学校関係者評価委員会が始まって2年経ち、中途退学者数を公表する。学生の中退だけでなく、学校側教員離職も多く発生しており、各委員から学生管理だけでなく従業員管理等についての意見交換をする。]

○岩田壮介 委員

弊社では、月に1回、職員会議を実施しています。話せる環境作りに心掛け、身近な部分の共通目標を立て、一緒に取り組めるようにしています。教職員に兼業者はいません。当然ですが、就業規則で禁止しています。

○川野公稔 委員

弊社では、職場に言えないようなことでも、伝えることができる「メンタルヘルス委員会」というのが月1回あります。貴校では、そのようなものはないのですか。（返答）弁護士が入っている「コンプライアンス委員会」というのがありますが、法令に関連するものに限られており、職場環境に対する直接的なものではありません。

○近藤文峰 委員

毎週火曜日に職員会議があります。火曜日は全員生徒を返します。学校からは教職員に対して自己成長を求めますが、展望が見えない、キャリアアップのチャンスが見えないと辞めていくと思います。

○廣瀬麻美 委員

在学中、パンフレットにカラーの授業があるのに1回も行われていない、シャンプーもほんの少しだけ。正直、学校パンフは嘘。嘘に興ざめし、中退の要因になっている部分もあるのではないかと感じます。1年生の時は、大部分ワインディングのみ。技術大会に出る生徒（アップスタイル等）はカラーの勉強やハサミ、シザーを使う機会があり充実する部分もあるが、普通の生徒は、国家試験前になってやっと本格的にハサミを使うような感じになる。カラーは勉強していないと思います。

以上

記録：山口